

各年度における教育・保育の量の見込み並びに実施しようとする
教育・保育の提供体制の確保の内容及びその実施時期（案）

1 教育・保育施設の定員の現状

		平成 26 年度（4 月 1 日現在） ※教育希望（幼稚園利用）は 25 年度				
		1 号	2 号		3 号	
		3 歳以上 教育希望	3 歳以上保育が必要		1・2 歳保 育が必要	0 歳保育が 必要
教育希望 が強い	左記以外					
児童数		1,312 人			814 人	429 人
定員		989 人	33 人	819 人	412 人	129 人
充足率		75.4%	2.5%	62.4%	50.6%	30.1%
定員	幼稚園	983 人	—		—	—
	認可保育所	—	—	804 人	366 人	110 人
	認定こども園	6 人	33 人	—	21 人	3 人
	認証保育所	—	—	15 人	25 人	16 人

2 教育・保育の提供体制の確保の内容及びその実施時期

（平成 27 年度）

		平成 27 年度				
		1 号	2 号		3 号	
		3 歳以上 教育希望	3 歳以上保育が必要		1・2 歳保 育が必要	0 歳保育が 必要
教育希望 が強い	左記以外					
（参考）児童数推計		1,236 人			819 人	453 人
需要率		37.4%	6.3%	60.7%	52.1%	25.2%
ニーズ量の見込み		463 人	79 人	751 人	427 人	114 人
提供量（確保方策）						
特定教育・ 保育施設	幼稚園、保育園、認 定こども園	542 人	852 人		402 人	119 人
確認を受け ない幼稚園	上記に該当しない	—	—		—	—
特定地域型 保育事業	小規模、家庭的、居宅 訪問型、事業所内保育	—	—		14 人	5 人
認可外保育施設		—	—		—	—
提供量合計		542 人	852 人		416 人	124 人
過不足分（提供量－ニーズ量）		79 人	22 人		-11 人	10 人

※需要率はニーズ調査から算出された児童数に対するニーズ量の割合。平成 27 年度～平成 31 年度同率。

(平成 28 年度)

		平成 28 年度				
		1号	2号		3号	
		3歳以上 教育希望	3歳以上保育が必要		1・2歳保 育が必要	0歳保育が 必要
教育希望 が強い	左記以外					
(参考) 児童数推計		1,165人		856人	443人	
需要率		37.4%	6.4%	60.7%	52.2%	25.3%
ニーズ量の見込み		436人	75人	708人	447人	112人
提供量 (確保方策)						
特定教育・ 保育施設	幼稚園、保育園、認 定こども園	542人	852人		402人	119人
確認を受け ない幼稚園	上記に該当しない	—	—		—	—
特定地域型 保育事業	小規模、家庭的、居宅 訪問型、事業所内保育	—	—		14人	5人
認可外保育施設		—	—		—	—
提供量合計		542人	852人		416人	124人
過不足分 (提供量－ニーズ量)		106人	69人		-31人	12人

(平成 29 年度)

		平成 29 年度				
		1号	2号		3号	
		3歳以上 教育希望	3歳以上保育が必要		1・2歳保 育が必要	0歳保育が 必要
教育希望 が強い	左記以外					
(参考) 児童数推計		1,124人		841人	430人	
需要率		37.4%	6.4%	60.7%	52.2%	25.3%
ニーズ量の見込み		421人	72人	683人	439人	109人
提供量 (確保方策)						
特定教育・ 保育施設	幼稚園、保育園、認 定こども園	542人	852人		402人	119人
確認を受け ない幼稚園	上記に該当しない	—	—		—	—
特定地域型 保育事業	小規模、家庭的、居宅 訪問型、事業所内保育	—	—		24人	5人
認可外保育施設		—	—		—	—
提供量合計		542人	852人		426人	124人
過不足分 (提供量－ニーズ量)		121人	97人		-13人	15人

(平成 30 年度)

		平成 30 年度				
		1 号	2 号		3 号	
		3 歳以上 教育希望	3 歳以上保育が必要		1・2 歳保 育が必要	0 歳保育が 必要
教育希望 が強い	左記以外					
(参考) 児童数推計		1,140 人		819 人	420 人	
需要率		37.4%	6.4%	60.7%	52.2%	25.3%
ニーズ量の見込み		427 人	73 人	693 人	427 人	106 人
提供量 (確保方策)						
特定教育・ 保育施設	幼稚園、保育園、認 定こども園	542 人	852 人		402 人	119 人
確認を受け ない幼稚園	上記に該当しない	—	—		—	—
特定地域型 保育事業	小規模、家庭的、居宅 訪問型、事業所内保育	—	—		24 人	5 人
認可外保育施設		—	—		—	—
提供量合計		542 人	852 人		426 人	124 人
過不足分 (提供量－ニーズ量)		115 人	86 人		-1 人	18 人

(平成 31 年度)

		平成 31 年度				
		1 号	2 号		3 号	
		3 歳以上 教育希望	3 歳以上保育が必要		1・2 歳保 育が必要	0 歳保育が 必要
教育希望 が強い	左記以外					
(参考) 児童数推計		1,110 人		765 人	399 人	
需要率		37.4%	6.4%	60.7%	52.2%	25.3%
ニーズ量の見込み		416 人	71 人	674 人	399 人	101 人
提供量 (確保方策)						
特定教育・ 保育施設	幼稚園、保育園、認 定こども園	542 人	852 人		402 人	119 人
確認を受け ない幼稚園	上記に該当しない	—	—		—	—
特定地域型 保育事業	小規模、家庭的、居宅 訪問型、事業所内保育	—	—		24 人	5 人
認可外保育施設		—	—		—	—
提供量合計		542 人	852 人		426 人	124 人
過不足分 (提供量－ニーズ量)		126 人	107 人		27 人	23 人

3 各年度における地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保の内容及びその実施時期

(1) 時間外保育事業

【事業概要】

保育認定を受けた子どもについて、認可保育所や認可こども園等で、通常の保育時間を超えて延長して保育を実施する事業です。

【福生の現状】

現状は、市内認可保育所において、1時間延長が11箇所、2時間延長が2箇所で開催しています。なお、市内認証保育所の2箇所では7:00~20:00の13時間開所を行っています。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用者数	—	—	230人	259人	211人
実施箇所数	12箇所	12箇所	12箇所	12箇所	13箇所

【今後の方向性】

市内の認可保育所において延長保育を行い、18時以降の保育需要への対応を図ります。

量の見込み人数は、現状を大きく上回らないことから、既存の保育施設でニーズの確保は可能であると思われます。

20時までの2時間延長保育は現在、認可保育所2箇所で行われています。また、認証保育所2箇所は20時までの13時間を開所時間としています。アンケート結果での、20時までの保育の利用希望は少ないものの、就労形態の多様化から時間外保育に対するニーズは高まることが予想されますので、今後利用者のニーズを注視しながら2時間延長保育の実施箇所について検討をします。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ニ ー ズ 量	322人	316人	308人	306人	292人
実施箇所数 (確保方策)	15箇所	15箇所	16箇所	16箇所	16箇所
提 供 量	322人	316人	308人	306人	292人
過 不 足 (提供量-ニーズ量)	0人	0人	0人	0人	0人

※市内認可保育所(定員1,280人)でまかなえるので過不足は0人となっている。

(2) 放課後児童健全育成事業

【事業概要】

保護者が就業等により昼間家庭にいない児童を対象に、授業が終わった後の遊びや生活の場を提供し、指導員の活動支援のもと児童の健全育成を図る事業です。平日の放課後のほか、土曜日、夏休み等の長期休暇中にも実施します。

【福生の現状】

平成 22 年度に 2 クラブを増設し、平成 22 年度以降の受入れ可能数を 619 人としています。入所者数をみると、平成 19 年度から教育委員会において自由参加型の「放課後子ども教室（ふっさっ子の広場）」が順次開設され、平成 21 年度には全小学校に開設したことにより、入所児童数は減少しています。

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
入 所 数	555 人	497 人	510 人	506 人	455 人	476 人
受 入 数	570 人	619 人	619 人	619 人	619 人	619 人
クラブ数	10 箇所	12 箇所	12 箇所	12 箇所	12 箇所	12 箇所

【今後の方向性】

ニーズ調査による「ふっさっ子の広場」へ利用希望が非常に高いことから、学童クラブへの入所見込みについては、減少傾向が続くとみられますが、新支援制度では小学校 6 年生までを事業の対象範囲とすることが明確化されたことにより、ニーズは現状よりも多いと推測されますので、「ふっさっ子の広場」と連携しながら、今後も待機児童ゼロに努めていきます。

また、国の推進する 40 人規模の学童クラブへ、検討する必要があります。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
ニ ー ズ 量	688 人	664 人	659 人	638 人	586 人
実 施 箇 所 数 (確 保 方 策)	12 箇所	12 箇所	12 箇所	12 箇所	12 箇所
提 供 量	619 人	619 人	619 人	619 人	619 人
過 不 足 (提 供 量 - ニ ー ズ 量)	-69 人	-45 人	-40 人	-19 人	33 人

(3) 子育て短期支援事業

【事業概要】

保護者の疾病や仕事等により、家庭において養育を受けることが一時的に困難になった児童について、必要な保護を行う事業で、短期入所生活援助事業（ショートステイ事業）と夜間養護等事業（トワイライトステイ事業）があります。

【福生の現状】

4市2町（福生市、青梅市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町）が統一した内容で東京恵明学園に委託しています。

(年間)

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
年延べ利用者数	78 人	86 人	41 人	68 人	16 人
実施箇所数	1 箇所	1 箇所	1 箇所	1 箇所	1 箇所

【今後の方向性】

現在、委託先との契約内容で、ニーズに対する対応が可能であるため、引き続き委託により事業を継続していきます。

(年間)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
ニ ー ズ 量	170 人	167 人	162 人	161 人	154 人
実施箇所数 (確保方策)	1 箇所	1 箇所	1 箇所	1 箇所	1 箇所
提 供 量	170 人	167 人	162 人	161 人	154 人
過 不 足 (提供量-ニーズ量)	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

※現状と算出されたニーズ量に乖離があるものの、提供していくことが可能なため、ニーズ量の値を提供量としたため、過不足は0人となっています。

(4) 地域子育て支援拠点事業

【事業概要】

乳幼児とその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業です。

【福生の現状】

市内の児童館3館と認可保育所1箇所で実施しています。

(月間)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
延べ利用者数	999人	1,066人	1,029人	970人	893人
実施箇所数	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所

【今後の方向性】

現在実施場所数が4箇所ありますが、ニーズ量が高いことから、認可保育所や公共施設等の適した場所に増設する必要があります。

さらに、開設時間の延長及び専任職員の配置等、事業の拡充も検討が必要です。

(月間)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ニ ー ズ 量	2,944人	3,006人	2,941人	2,867人	2,694人
実施箇所数 (確保方策)	5箇所	5箇所	6箇所	6箇所	6箇所
提 供 量	2,944人	3,006人	2,941人	2,867人	2,694人
過 不 足 (提供量-ニーズ量)	0人	0人	0人	0人	0人

※ニーズ量は、利用・未利用にかかわらず利用希望日数をニーズ量としたため、現状と大きく乖離した。

※現状と算出されたニーズ量に乖離があるものの、提供していくことが可能（児童館：幼児室・館庭、保育園：遊戯室・園庭）なため、ニーズ量の値を提供量とした。

(5) 幼稚園における一時預かり事業

【事業概要】

通常の教育時間の前後や長期休業期間中などに、保護者の要請に応じて、希望する者を対象に実施する事業です。

(年間)

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
年延べ利用者数	10,428 人	9,984 人	10,104 人	9,600 人	12,752 人
実施箇所数	4 箇所	4 箇所	4 箇所	4 箇所	4 箇所

【今後の方向性】

新制度では幼稚園の預かり保育は一時預かり事業に位置づけられたことにより、今後、ニーズ量は多いと推測されますので、幼稚園の積極的な取り組みを推進する必要があります。空き教室を積極的な利用によるニーズへの対応を検討します。

(年間)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
ニーズ量（1号認定による利用）	9,055 人	8,535 人	8,234 人	8,351 人	8,132 人
ニーズ量（2号認定による利用）	12,778 人	12,044 人	11,620 人	11,785 人	11,475 人
実施箇所数 （確保方策）	4 箇所	4 箇所	4 箇所	4 箇所	4 箇所
提 供 量	21,833 人	20,579 人	19,854 人	20,136 人	19,607 人
過 不 足 （提供量－ニーズ量）	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

※ニーズ量は、利用・未利用にかかわらず利用希望日数をニーズ量としたため、現状と大きく乖離した。

※現状と算出されたニーズ量に乖離があるものの、提供していくことが可能なため、ニーズ量の値を提供量としたため、過不足は0人となった。（幼稚園4園の定員983人×開園日数242日＝237,886人）

(6) 保育所、ファミリー・サポート・センター等における一時預かり事業

【事業概要】

保護者が冠婚葬祭や育児疲れなどの理由により、家庭での保育が一時的に困難となった子どもについて、主として昼間、保育園その他の場所で一時的に預かる事業です。

【認可保育所における一時預かりの実施状況】

(年間)

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
年延べ利用者数	757 人	614 人	456 人	522 人	516 人
実施箇所数	12 箇所	12 箇所	12 箇所	12 箇所	13 箇所

【今後の方向性】

今後も一時預かりに対するニーズは高いと予測されますので、認可保育所で確保をはかるとともに、ファミリー・サポート・センターでの受入れを検討していきます。

(年間)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
ニーズ量（在園児対象を除く一時預かり）	7,510 人	7,739 人	7,582 人	7,359 人	6,883 人
実施箇所数（確保方策）	14 箇所	14 箇所	15 箇所	15 箇所	15 箇所
提供量	7,510 人	7,739 人	7,582 人	7,359 人	6,883 人
過不足（提供量－ニーズ量）	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

※ニーズ量は、利用・未利用にかかわらず利用希望日数をニーズ量としたため、現状と大きく乖離した。

※現状と算出されたニーズ量に乖離があるものの、提供していくことが可能なため、ニーズ量の値を提供量としたため過不足は0人となった。

(例 平成 27 年度 7,510 人 ÷ 14 園 ÷ 開所日数 294 日 = 1.8 人)

(7) 病児保育事業

【事業概要】

病気や病気回復期の児童で、保護者の就労等の理由で、保護者が保育できない際に、保育施設で児童を預かる事業です。

【福生の現状】

平成 20 年 11 月に開設した福生保育園内の病後児保育室と平成 25 年 4 月に開設したすみれ保育園病後児保育室の 2 か所で実施しています。病気の子や保育中、体調不良児となった子を受入れる「病児保育」は未設置となっています。

【認可保育所における病後児保育の実施状況】

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
延べ利用者数	37 人	61 人	59 人	40 人	86 人
実施箇所数	1 箇所	1 箇所	1 箇所	1 箇所	2 箇所

【今後の方向性】

病児病後児保育について、実績よりもかなり多くのニーズが見込まれています。病後児保育については現状の定員（8 人/日）で対応することは可能と思われませんが、病児保育についてのニーズも高いと推測されることから、市内の医療機関に病児保育室を早期に開設することを検討していきます。

(年間)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
ニ ー ズ 量 (就 学 前)	1,564 人日	1,537 人日	1,494 人日	1,484 人日	1,418 人日
ニ ー ズ 量 (小 学 生)	267 人日	256 人日	254 人日	246 人日	228 人日
実 施 箇 所 数 (確 保 方 策)	1 箇所	1 箇所	1 箇所	1 箇所	1 箇所
提 供 量	1,831 人	1,793 人	1,748 人	1,730 人	1,646 人
過 不 足 (提供量 - ニーズ量)	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

※ニーズ量には、未利用者の掘り起こしとなったとともに、利用・未利用にかかわらず利用希望日数をニーズ量としたため、現状と大きく乖離した。

※現状と算出されたニーズ量に乖離があるものの、提供していくことが可能なため、ニーズ量の値を提供量とした。

(8) ファミリー・サポート・センター（就学児童のみ）

【事業概要】

育児の援助を依頼したい人と協力したい人が会員となって一時的、臨時的に有償で子どもを自宅で預かる相互援助活動組織で、依頼会員はおおむね小学校6年生までの子どもを持つ保護者とした事業です。

【福生の現状】

市内に居住または在勤し生後57日から小学校6年生までの児童の保護者及び市内に居住し心身共に健康な20歳以上の方を対象に、「子育ての手助けをしてほしい方（依頼会員）」と「子育ての手助けが出来る方（提供会員）」が会員となり、地域で助け合いながら子育てをする会員組織（有償ボランティア）ファミリー・サポート・センターにはアドバイザーを配置し援助活動の調整しています。

会員数は、依頼会員57人、提供会員38人、両方会員4人となっています。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
提供会員	—	—	—	—	38人
依頼会員	—	—	—	—	57人
両方会員	—	—	—	—	4人
小学生利用者	—	—	—	—	164人

※平成25年10月開設

【今後の方向性】

平成25年10月からスタートした事業であるため、引き続き市民への事業の周知徹底が必要です。また、支援体制の充実を図るため、平成26年度以降も事業説明会（月1回）、提供会員の講習会（年2回）を継続して実施し、提供会員を増やしていく必要があります。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ニーズ量	303人日	291人日	289人日	280人日	259人日
提供量	303人日	291人日	289人日	280人日	259人日
過不足 (提供量-ニーズ量)	0人	0人	0人	0人	0人

※現状と算出されたニーズ量に乖離があるものの、提供していくことが可能なため、ニーズ量の値を提供量とした。

(9) 利用者支援事業

【事業概要】

1人1人の子どもが健やかに成長することができる地域社会の実現に寄与するため、子ども及びその保護者等、または妊娠している方がその選択に基づき、多様な教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、必要な支援を行うことを目的とします。

子ども、またはその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業です。

具体的には次の業務を行います。

- ①利用者の個別ニーズを把握し、それに基づいて情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう実施する。
- ②教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を提供している関係機関との連絡・調整、連携、協働の体制づくりを行うとともに、地域の子育て資源の育成、地域課題の発見・共有、地域に必要な社会資源の開発等に努める。
- ③本事業の実施に当たり、リーフレットその他の広告媒体を活用し、積極的な広報・啓発活動を実施し、広くサービス利用者に周知を図る。
- ④その他事業を円滑にするための必要な諸業務を行う。

【今後の方向性】

新制度に向け窓口支援にあたる専門相談員の配置を検討します。

保育所の入所相談だけでなく、様々な事業、地域資源を紹介、利用調整が行える体制とします。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
実施箇所数 (確保方策)	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所

(10) 妊婦健康診査

【事業概要】

母子保健法第13条に基づき、妊婦及び胎児の健康増進、妊婦の生活習慣改善を目的として健康診査を行う事業です。

【福生の現状】

妊娠届出をした方に対して、妊婦健康診査受診票14回分と妊婦超音波検査受診票1回分を交付し、妊婦健康診査費用の助成を行っています。また、東京都外等で受診する方に対しては、出産後の手続きにより妊婦健康診査費用の助成を行っています（東京都の契約単価を上限とする）。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
妊 娠 届 出 数	586人	518人	477人	475人	463人
里帰り等妊婦健康診査費用助成金制度申請者	0人	56人	51人	55人	59人

【今後の方向性】

妊婦の疾病等の早期発見、早期治療を目的とし、母子共に安全安心な出産を目指します。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ニ ー ズ 量 (上段 妊婦健診 下段 里帰り妊婦 健診)	413人 47人 健診回数 5,782回	390人 45人 健診回数 5,460回	368人 42人 健診回数 5,152回	347人 40人 健診回数 4,858回	328人 38人 健診回数 4,592回
実 施 体 制 (確保方策)	実施場所：都内の契約医療機関 検査項目：体重・血圧測定、尿検査、血液型、貧血、血糖、不規則抗体、 梅毒・B型肝炎・風疹、クラミジア抗原、C型肝炎、経膈超音波、 HTLV-1抗体、B群溶連菌、NST（ノンストレステスト）				

(11) 乳児家庭全戸訪問事業

【事業概要】

生後 4 か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し、乳児及びその保護者の心身の状況ならびに養育環境の把握を行い、子育てに関する情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対して適切なサービスの提供に結びつける事業です。

【福生の現状】

里帰り出産をした者や入院が長期に渡る場合は、生後 4 か月を過ぎても行うことが可能です。訪問は市職員（保健師、助産師等）及び市と委託契約を締結した保健師又は助産師が実施しています

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
妊 娠 届 出 数	586 件	518 件	477 件	475 件	463 件
訪 問 数	421 件	408 件	366 件	339 件	343 件
訪 問 率	71.8%	78.8%	76.7%	71.4%	74.1%

* 訪問数には生後 28 日未満の新生児訪問の数も含む

【今後の方向性】

少子化、核家族化により孤立し、祖父母や近隣住民からの援助もない中で子育てをしていく保護者が不安に陥らないよう安心して子育てができるよう必要な支援や助言を行うために、全戸訪問に努めていきます。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
推 計 値	297 件	291 件	275 件	259 件	245 件
実 施 体 制 (確 保 方 策)	保健センターにて実施				

(12) 養育支援訪問事業等

【事業概要】

養育支援が特に必要な家庭を訪問して、保護者の育児、家事等の養育能力を向上させるための支援（相談支援、育児・家事援助など）を行う事業です。

【福生の現状】

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
実 人 数	23 人	8 人	5 人	1 人	1 人
訪 問 件 数	233 件	65 件	64 件	58 件	11 件

【今後の方向性】

相談支援については職員の相談技術のさらなるスキルアップを図り、充実させていきます。

育児、家事援助については現在の委託先との契約内容で対応が可能である為、引き続き委託していきます。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
推 計 値	8 人 86 件	8 人 86 件	8 人 86 件	8 人 86 件	8 人 86 件
実 施 体 制 (確 保 方 策)	子ども家庭支援センターにて実施				